

様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）

令和 4 年 6 月 27 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒670-0964

住所 兵庫県姫路市豊沢町111シンセイビル

事業者名 株式会社シンセイコーポレーション

担当者所属 営業本部第二部

担当者名 山岸裕次郎

電話番号 079-286-8640

電子メールアドレス yamagishi@shinseicorp.com

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名	株式会社シンセイコーポレーション	
担当者名	山岸裕次郎	
担当者連絡先	住所	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町111シンセイビル
	電話	079-286-8640
	電子メールアドレス	yamagishi@shinseicorp.com
主たる業種	1. 輸出入業、2. 製造、3. エンジニアリング	
主要な製品	太陽光シリコンウェハー、顔認識デバイス製品受託、睡眠デバイス	
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input checked="" type="checkbox"/> ショートステイ <input checked="" type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望	＜希望エリア＞関西、関東近郊（弊社（姫路事務所or東京本社）から2時間以内希望。関西、関東近郊施設がない場合も対応可）	

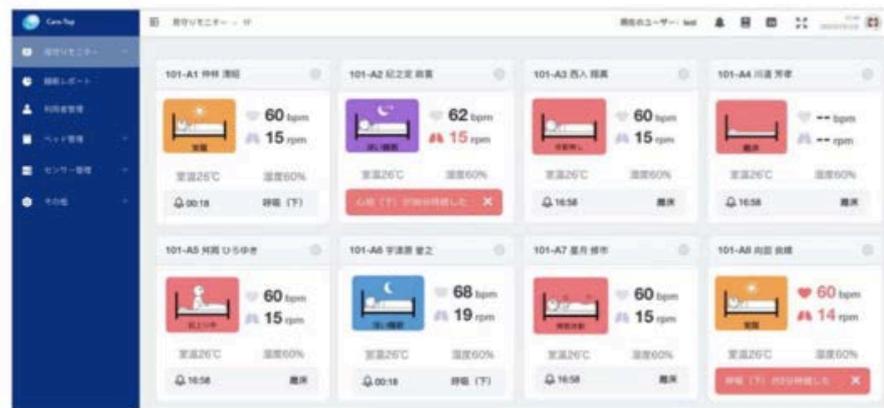
2. 試用介護機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	Care-Top
機器の概要 (写真を添付すること)	想定する使用者、使用場面 ① 想定する使用者 睡眠状況を把握したい介護施設および介護職員（特に夜間時） ② 使用場面 状況把握により介護負担軽減に繋がる。（訪室回数軽減、転倒防止減など。）
	機能と使用方法、有用性 介護現場では特に夜間時の介護職員の負荷が高く、入居者の睡眠時の状態把握する仕組みは、職員の負担軽減という面からも重要な要素の1つです。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div style="text-align: center;"><p>センサー</p></div><div style="text-align: center;"><p>コントローラー</p></div></div>

●ベッドのマットレスの下に敷いて使用するセンサーです。



●モニター管理画面で入居者のリアルタイムの状態（睡眠状態含む）が一目でわかります。



	<u>類似する機器との相違（従来品と比較した優位性）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温度、湿度センサーを搭載。 ・ 感度調整について手動タイプが多いが、AI搭載により自動調整が可能。
	<u>センサー・リアルタイム精度</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心拍数、呼吸数はPSG（脳波計）と比較し95%の精度 ・ 検知時間：離床→覚醒 約5秒、覚醒→起上り 約1-3秒、睡眠or覚醒→離床 約15-35秒（Wi-Fi環境による）
	<u>当該機器と介護業務との関連性</u> 見守りセンサー「Care-Top」は、圧電センサーだけでなく離床センサーも搭載されており1台2役としてお使いいただけます。 スマートフォンとの連携でさらに介護業務の軽減が可能です。
現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント（性能安全と利用安全の確保対策）</u> ※アセスメント結果を添付して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PSE認証番号：TKY171116-AC 16 11 009 ・ TELEC認証番号：211-171102 ・ IEC61000-4-2:2008基準合格品（ESD限界テスト 耐圧15,000V）
	<u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護記録ソフト「ケアカルテ」との連携 モニター調査日によっては動作検証実施可能。 ・ ナースコール「ケアコム」との連携 社会福祉法人ハッピーネット「若葉ゆめの園」にて連携機能の動作検証を実施予定 ・ ナースコール「アイホン」との連携 社会福祉法人桑の実園「旭陽」にて連携機能の動作検証を実施予定
	<u>開発に関する当面の課題</u> 開発終了済。

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り、機能性確認 ・ 運用シーンでの効果・課題確認 ・ ユーザビリティ
2. 調査概要	1) 調査対象：介護施設の職員 2) 調査したい場面、場所： 調査したい場面：見守り（離床時、起上り時など）、申し送り時 場所：居室内 3) 調査期間（日数）：約2ヶ月（別途相談） 4) 機器の台数：1ユニット（約10名）に対して必要台数を用意

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP9～10を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

<p>1. 利用対象者の適用範囲に関すること</p>	<p>【調査手法】 <input checked="" type="checkbox"/>観察法 <input checked="" type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】 現場訪問およびスタッフへアンケートによるヒアリング 1. 離床検知、起上り検知などのリアルタイム性の確認 2. 睡眠状態をモニター 3. 各項目アラート有無の確認</p>
<p>2. 利用環境の条件に関すること</p>	<p>【調査手法】 <input checked="" type="checkbox"/>観察法 <input checked="" type="checkbox"/>インタビュー法 <input checked="" type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】 現場訪問およびスタッフへアンケートによるヒアリング 1. 通信環境の影響</p>
<p>3. 機器の利用効果に関すること</p>	<p>【調査手法】 <input checked="" type="checkbox"/>観察法 <input checked="" type="checkbox"/>インタビュー法 <input checked="" type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【取得指標】 i 被介護者 <input checked="" type="checkbox"/>要介護度 <input type="checkbox"/>ADL <input checked="" type="checkbox"/>IADL <input type="checkbox"/>LSA <input checked="" type="checkbox"/>日常生活時間 <input type="checkbox"/>QOL <input type="checkbox"/>その他（ ） ii 介護者 <input type="checkbox"/>腰痛等の有無 <input checked="" type="checkbox"/>介護負担指標 <input checked="" type="checkbox"/>ストレス指標 <input checked="" type="checkbox"/>生体情報 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>【想定する調査方法】 現場訪問およびスタッフへアンケートによるヒアリング</p> <p>介護者の負担軽減 ・介護業務負担の変化 ・ストレス指標の変化 ・システム導入前後の変化</p>

<p>4. 機器の使い勝手に関すること</p>	<p>【調査手法】 <input checked="" type="checkbox"/>観察法 <input checked="" type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】 現場訪問およびスタッフへアンケートによるヒアリング</p>
<p>5. 介護現場での利用の継続性に関すること</p>	<p>【調査手法】 <input checked="" type="checkbox"/>観察法 <input checked="" type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】 現場訪問およびスタッフへアンケートによるヒアリング</p>
<p>6. その他</p>	<p>アンケート見本 次ページ</p>

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

この度は見守りセンサー「Care-Top」の実証実験にご協力いただき誠にありがとうございました。
お手数ではございますが、今後のサービス向上のためにもアンケートのご協力をお願いします。

◆職員様情報

お役職 経営者 施設長 ケアマネージャー スタッフ その他 ()

◆導入効果について

Q1. 本センサーにより効果を感じられましたか？

また使用される中で、課題解決に繋がった事例がありましたら教えてください。

非常に感じた やや感じた どちらともいえない あまり感じなかった 全く感じなかった

理由/事例： ()

例) 起上りアラートを確認し訪室することで転倒防止に繋がった 等

◆機能性について

Q2. 本センサーでは全8項目(起上り・覚醒・離床・頻繁体動・体動なし・心拍・呼吸数・無呼吸)のアラート検知が可能ですが、他にも検知が必要な項目がありましたら教えてください。

追加で必要なアラート項目：

理由： ()

Q3. 本センサーをご使用中、職員様のモバイル端末へ正しく通知されていましたか？

通知されていた やや通知されていた あまり通知されていなかった 全く通知されていなかった

Q4. 操作方法で何か使用しづらいことはありましたか？

その他、お困りごとがあれば教えてください。

使用しやすかった 使用しにくかった 使用していないからわからない

その他お困りごと： ()

Q5. ベッドレイアウト変更時やシーツ交換時の操作でご意見があれば教えてください。

操作しやすかった 操作しにくかった 操作していないからわからない

理由： ()

例) 簡単に変更できてよかった、マジックバンドの粘着力が弱かった 等

Q6. アラートの音声は聞き取りやすかったですか？

聞きとりやすかった 聞きとりしにくかった 聞き取りしていないからわからない

◆管理画面について

Q7. 管理画面での各機能の操作についてご意見があれば教えてください。

・シンプルで使いやすい

非常にそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

・使い方がすぐに理解できる

非常にそう思う ややそう思う どちらともいえない あまりそう思わない そう思わない

◆過去に類似製品を体感された方は、「Care-Top」との比較の上、ご感想をお願いします。

◆その他、ご意見やご要望、改善点などあればお聞かせください。

SHINSEI CORPORATION

To Be Your Best Partner in Global Solution



ごあいさつ



代表取締役社長 林 範植
President Lim Bumsik

顧客と共に、 顧客を勝者にする最高価値のために 努力する会社

日頃よりシンセイコーポレーショングループに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

シンセイコーポレーションは、1973年2月に専門貿易商社として設立しました。

以降、激変する市場環境に迅速に対応するため、輸出入のみならず、IT製品の開発・製造、エンジニアリング、海外投資などの事業を展開するとともに、マーケティングにも力を注ぎ、現在も持続的に発展している会社です。

世界的に成長が見込める商材は国の文化や時期が違っても必ず需要があることから、日本・韓国・中国のクロスセラーが可能な会社として、3か国の言語を駆使し、お互いの文化を理解するとともに、商材のストリームを正確に把握し、企画・開発して商品化することで、市場の要求に応える会社であり続けることに大きな焦点を合わせています。

当社は、電子エネルギー分野、IoT分野、バイオ分野の3つの領域を中心とした事業を展開しています。

電子エネルギー分野は、2次電池、太陽光、電力半導体の各分野での有数な企業との協力を通じて、主要部材の開発、およびマーケティングに全力を尽くしています。

IoT分野は、10年以上にわたるモバイルWiMAXや放送用ワンセグのモジュールや製品の開発・製造の実績と、通信ネットワーク技術を基盤とし、介護、健康、スマートホームのソリューションを提供する事業を積極的に推進しています。

また、自動車、鉄道、空港インフラ関連のモジュールおよび製品を中心に、お客様の要望に対応しながら、安定的に推進しています。今後は、5Gに対する準備も積極的に進めてまいります。

バイオ分野は、新事業の発掘および開拓に絶えず挑戦しており、美容と生体認識に力を注いでいます。

シンセイコーポレーションは「挑戦・配慮・疎通」の3つの精神を大切にしています。

- ・責任感を持ち、最善のチームプレーを創り出す絶え間ない挑戦
- ・お客様の立場に立った気配り、配慮
- ・未来を決めることになりうるお客様との意思疎通

力の結集とお互いを高めるチームワークを会社精神の旗印とし、社内体制の強化を図ると共に、激動する世界市場へのスピード対応をモットーに、情報化社会に貢献出来る企業として、お客様にご満足いただけるよう、一層努力する所存でありますので、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

会社概要

社名	株式会社シンセイコーポレーション	取引銀行	三菱UFJ銀行
業種	輸出業、製造、エンジニアリング、海外投資		みずほ銀行
設立	1973年2月16日		三井住友銀行
本社	〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目5番地8 共和15番館ビル4階		みなと銀行
資本金	99,500,000円		山陰合同銀行
従業員	50名（グループ含む）	役員	伊予銀行
			代表取締役会長 大東 敏郎
			代表取締役社長 林 範植
			取締役 前島 勲
			取締役(社外) 飯島 義雄
			監査役 黒田 尚

Message

Together with our customers,
we do our best for the greatest value that makes our customers winners.

We would like to express our gratitude for your patronage.

We started our business as a specialized trading company in February 1973.

Since then, we have developed our business in, not only import and export, but also development and manufacturing of IT products, engineering and overseas investment. Moreover, we have focused on marketing and sustainably been developing.

We believe that products with potential for growth worldwide are always in demand even in different cultures and ages.

As a company with ability to trade among Japan, Korea, and China, we have a free command of three languages with understanding of each other's culture and we accurately comprehend the stream of products and plan and develop such products for commercialization so that we still continue to be a company that satisfies a market demand.

We operate mainly in 3 divisions, electronics/energy division, IoT division and biotechnology division.

In electronics/energy division, we focus on development and marketing of main materials via the cooperation of the leading companies of rechargeable battery, solar power, and power semiconductor.

In IoT division, with accomplishment for more than 10 years in development and manufacturing of WiMAX mobile routers and 1seg tuners and based on telecommunications technology, we work actively in business for supplying solutions in nursing care, health care, and smart home. Besides, we stably advance in fulfilling our customers' demand with a central focus on modules and products related to cars, trains, and airport infrastructure and we will positively promote the preparation for 5G.

In biotechnology division, we are taking up the challenge of finding and uncovering new business opportunities and focus on beauty care and biometrics.

We cherish 3 spirits, "challenge, consideration, and communication."

- continuous challenge with a sense of duty that creates best team play
- careful attention and consideration that make us to think from our customers' perspective
- communication with our customers that can determine the future

Under the slogan of teamwork that mobilizes power and boosts each other up as our company's spirit, we enhance our company structure and make further efforts for our customers' satisfaction with prompt response to a rapidly changing world market as our motto and for contributing to an information-oriented society.

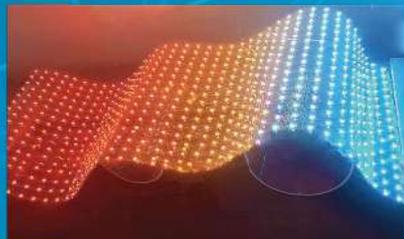
We ask for your continued support.

Company Profile

Company name	SHINSEI CORPORATION	Main banks	MUFG Bank, Ltd. Mizuho Bank, Ltd. Sumitomo Mitsui Banking Corporation. The Minato Bank, Ltd. The San-In Godo Bank, Ltd. The Iyo Bank, Ltd.
Head office	4F Kyowa No.15, Bldg., 2-5-8 Nishikada, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0065, Japan TEL:+81-3-5212-1253 FAX:+81-3-3237-7162		
Main business activities	Exporting and importing, manufacturing, engineering, overseas investment consultant	Board members	CEO Toshiro Ohigashi
Date founded	February 16th, 1973		COO Lim Bum Sik
Capital	99.5 million Japanese yen		Director Isao Maejima
Number of employees	50 (including our overseas offices)		Outside Director Yoshio Ijima Audit & Supervisory Board Member Takashi Kuroda



快適睡眠ブランド Sleepace



薄い・軽い・曲がる
透明フィルムLED

通信事業

通信・IoT製品に付加価値を創造し、来たる5Gの世界に向けて心の通うサービス・ビジネスを実現する製品を提供します



介護用みまもりシステム
Care-Top



AT顔認証カメラ

novas WiMAX
powered by UQ WiMAX

モバイルネットサービス
novas WiMAX

1. 製品品質への取り組み

お客様に当社製品を安心してご使用いただくため、**継続的な製品品質の向上に努めています**

お客様に製品を快適にご使用いただくためには、日々のサービスの中において、常にお客様の声に耳を傾け、隠れたニーズ、ご要望をしっかりと掴みとることが重要です。当社では、品質と信頼性向上のため、幅広い視点でお客様の声を掴み、継続的な製品品質の向上に努めています。

■ 製品品質の継続的な改善・向上に取り組んでいます

製品の開発プロセスにおける取り組みとして、ニーズ・ご要望の把握から、製品開発後のフォローアップまで、お客様からは製品・サービスの品質に対する数多くのフィードバックをいただきます。私たちは、このフィードバックを新たなニーズと捉え、継続的にお客様の製品品質の改善・向上に活用することで、お客様のご要望にあった製品を提供し、信頼性の向上を図っています。

2. 製品の安全・安心への取り組み

製品化までの全てのプロセスにおいて、**安全・安心をご提供するための取り組みを続けています**

お客様にご提供する製品の安全・安心の確保は私たちの大きなテーマです。資材の調達、生産、製品化までの各プロセスにおいて、お客様に確実に安心、安全な製品をご提供する使命感を社員一人ひとりが持ち、さまざまな取り組みを続けています。

■ 製品の安全性、法規制などを厳格に審査・調査しています

製品の安全性への取り組みとして、製品の設計段階から安全性、法規制、各種自主基準への対応について厳しい審査を行っています。また、使用開始後も定期的にサプライヤーから情報の入手を図り、継続的に安全性を確認しています。

■ 使用する製品に関するお客様への情報提供にも取り組んでいます

当社は、お客様への製品の使用状況に関する情報提供にも取り組んでいます。お客様からいただいた製品の安全性に関するご質問を、生産拠点、品質部門にて精査し、速やかにお答えしています。

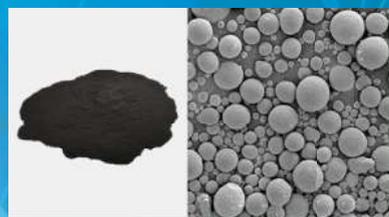




太陽光発電シリコンウエハー



AGパウダー



リチウム二次電池負極材SiOx

電子・エネルギー事業

太陽光ウエハーをはじめ、二次電池材料や、各種電子部品を提供しエネルギーとテクノロジーの未来を支えます



二次電池 添加剤



電子部品

3. 地球環境保全への取り組み

事業活動を通じて地球環境保全を実施することが、経営の重要課題であることを認識し、環境方針を策定して実施しています。

1	環境にやさしい商品、地球環境保全に役立つ事業の推進を図ります。
2	事業活動及び取扱製品が環境に与える影響を把握し環境負荷を軽減させるため、環境目的・目標を設定し、定期的に検証を行い継続的な改善に努めます。
3	地球温暖化と資源枯渇を防止するため、電気、ガス、水などの消費量の削減や自動車使用頻度の削減、低公害自動車の導入など省エネルギー活動を推進します。
4	地球資源保護のため、紙の使用量と事務用品、什器備品類購入量の削減を推進すると共に、これらのグリーン購入を積極的に行い環境保全に貢献します。
5	資源の有効活用を図るため、分別廃棄、リサイクルを推進し、廃棄物削減を日常的に実行します。
6	取扱製品に含まれる有害物質の削減を取引先の理解と協力を得て推進します。
7	環境関連の法律、規則、条例及びその他の要求事項を遵守します。
8	全従業員参加型の環境マネジメントシステムを確立し、社内教育を実施し、周知徹底をはかります。
9	この環境方針は、当社の従業員、当社のために働くすべての人、および広く一般に開示します

沿革

1973年2月	新星貿易株式会社 設立	2008年2月	東京事務所 設立
1992年4月	上海事務所 設立	2009年1月	弊社初のコンシューマー製品であるWiMAXデータ通信端末の共同開発に成功し、UQコミュニケーションズへの供給を開始
1997年8月	深圳事務所 設立	2009年2月	ISO9001品質マネジメントシステム認証取得
2000年10月	韓国事務所 設立	2010年2月	東京に子会社シンセイコーポレーション販売株式会社を設立
2003年4月	韓国産業資源部傘下の電子部品研究院 (KETI)と海外業務協力協約締結	2012年4月	本社を東京に移転 同時に、子会社を株式会社シンセイコミュニケーションズに社名変更
2003年10月	東京にて「韓国IT企業商談会」開催	2014年1月	電子、アパレル、通信、エネルギーの4事業本部体制をスタート
2004年3月	東京及び大阪にて「2004年日韓先端技術交流商談会」開催	2015年6月	香港に子会社を設立
2004年7月	韓国事務所を閉鎖し、現地法人 SHINSEIKOREA CORPORATION 設立	2015年6月	子会社の株式会社シンセイコミュニケーションズを吸収合併し、通信関係事業の強化を実施
2005年2月	大阪にて「日韓ハイテク企業交流商談会」開催	2015年12月	資本金を9,950万円に増資
2005年3月	東京にて「2005年日韓先端技術交流商談会」開催	2016年2月	アパレル部門を株式会社シンセイとして分社化
2006年2月	ISO14001環境マネジメントシステム認証取得 大阪にて「日韓ハイテク企業交流商談会」開催	2018年11月	睡眠ソリューションブランド「Sleepace」製品の提供を開始
2006年9月	P C用ワンセグチューナーの共同開発に成功	2020年1月	薄い・軽い・曲がる「透明フィルムLED」の取り扱いを開始
2006年12月	更なる発展のため会社名を 株式会社シンセイコーポレーション に変更 本社を姫路に移転		
2007年5月	大阪にて「日韓部品素材商談会」開催		

History

Feb 1973	Established Shinsei Trading Co., Ltd.	Dec 2006	Changed the company's name to SHINSEI CORPORATION and moved the head office to Himeji, Hyogo.
Apr 1992	Established Shanghai Office.	May 2007	"Korea-Japan Parts Materials Business Fair" was held in Osaka.
Aug 1997	Established Shenzhen Office.	Feb 2008	Established Tokyo Office.
Oct 2000	Established Korea Office.	Jan 2009	Jointly developed WiMAX Data Communication Terminal and started to supply to UQ Communications Inc.
Apr 2003	An agreement was signed on April 30th, 2003 for Overseas Business Alliance with KETI (KOREA ELECTRONICS TECHNOLOGY INSTITUTE under the Korean Ministry of Trade, Industry, and Energy).	Feb 2009	Acquired ISO 9001 Quality Management system certification.
Oct 2003	"Korea-Japan IT Trade Fair" was held in Tokyo.	Feb 2010	Established a subsidiary, SHINSEI CORPORATION SALES, in Tokyo.
Mar 2004	"Korea-Japan High Technology Exchange and Trade Fair" was held in Osaka and Tokyo	Apr 2012	Moved the head office to Tokyo and changed the subsidiary's name to SHINSEI COMMUNICATIONS.
Jul 2004	Closed Korea Office and established a local subsidiary, SHINSEI KOREA CORPORATION.	Jan 2014	Switched to a divisional organization consisting of 4 divisions, such as Electronics, Apparel, Communication, and Energy.
Feb 2005	"Korea-Japan High Technology Exchange and Trade Fair" was held in Osaka.	Jun 2015	Established a subsidiary in Hong Kong.
Mar 2005	"Korea-Japan High Technology Exchange and Trade Fair" was held in Tokyo.	Jun 2015	Merged with SHINSEI COMMUNICATIONS to reinforce communication related business.
Feb 2006	Acquired ISO 14001 Environmental Management system certification. "Korea-Japan High Technology Exchange and Trade Fair" was held in Osaka.	Dec 2015	Increased capital to 99.5 million yen.
Sep 2006	Jointly developed One-Seg Tuner for PC.	Feb 2016	Spun off Apparel division into a separate company.
		Nov 2018	Started to supply a sleep solution brand, "Sleepace."
		Jan 2020	Started to sell a thin, light, and bendable "transparent film LED."

事務所

東京

〒101-0065
東京都千代田区西神田2-5-8
共和15番館ビル4F
TEL:03-5212-1253 FAX:03-3237-7162

姫路

〒670-0964
兵庫県姫路市豊沢町111番地シンセイビル
TEL:079-286-8640 FAX:079-287-4560

上海

〒200333
上海市普陀区金沙江路1678号1018室
TEL:86-21-6276-4850
E-mail : shinseish@shinseicorp.cn

深圳

〒518054
深圳市南山区登良路26号公園道大厦B棟1510室
TEL:86-755-86270422
E-mail : sssz@shinseicorp.cn

Offices

Tokyo

4F kyowa No.15 Bldg., 2-5-8 Nishikanda,
Chiyoda-ku Tokyo 101-0065, Japan
TEL:81-3-5212-1253 FAX:81-3-3237-7162

Himeji

Shinsei Bldg.,111, Toyosawacho,
Himeji, Hyogo 670-0964, Japan
TEL:81-79-286-8640 FAX:81-79-287-4560

Shanghai

Room 1018, 1678 Jinshajiang Road, Putuo
District, Shanghai, 200333, China
TEL:86-21-6276-4850
E-mail : shinseish@shinseicorp.cn

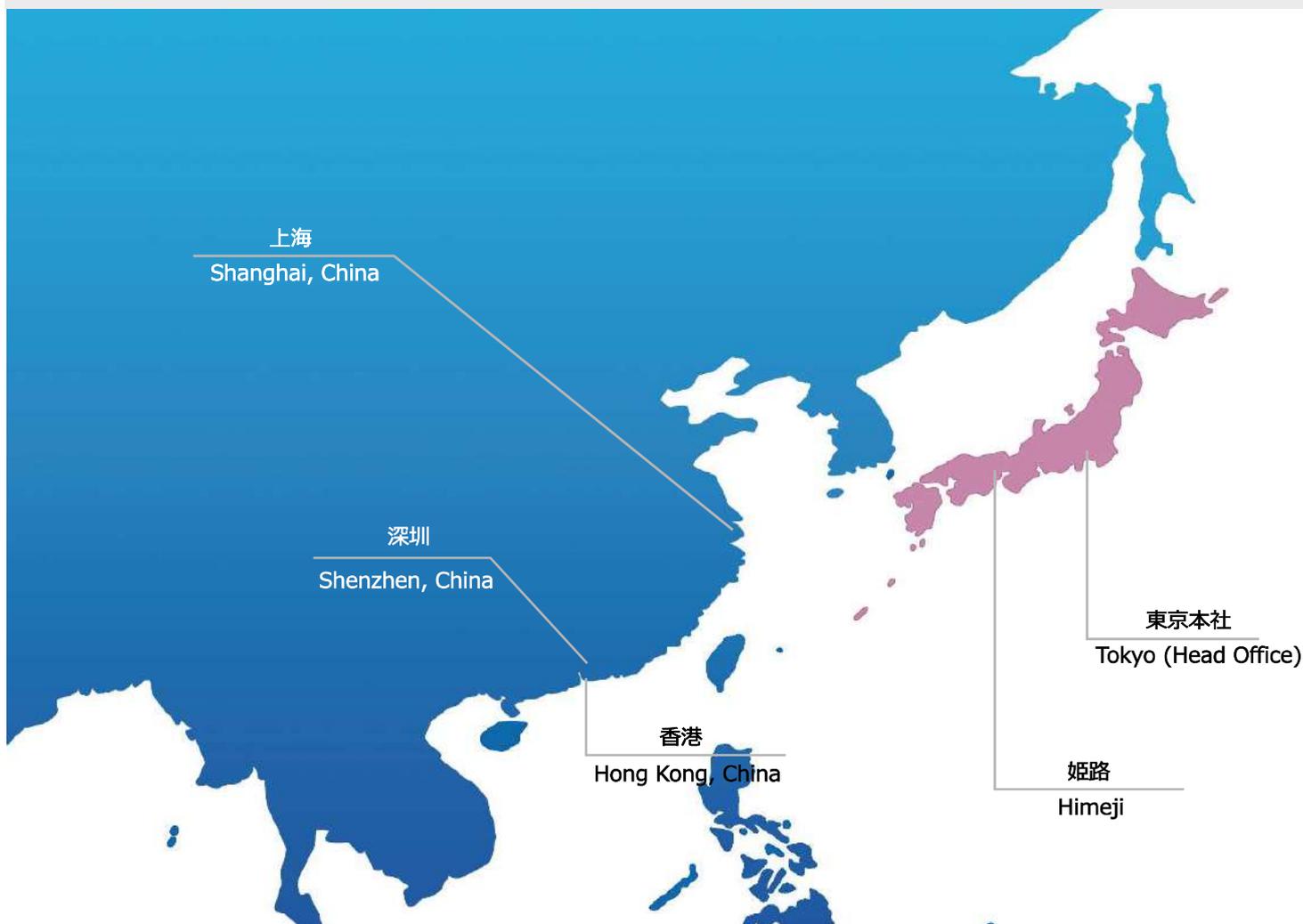
Shenzhen

Room 1510 Tower B, iPARK Building No.26
Dengliang Road, Nanshan District, Shenzhen,
Guangdong, 518054, China
TEL:86-755-86270422
E-mail : sssz@shinseicorp.cn

グループ会社 Group Companies

香港 / SHINSEI CORPORATION HK LIMITED

Room 802, 8/F., Golden Gate Comm. Bldg.,
136-138 Austin Road, TST, KLN, Hong Kong
Tel: 852 2314 1060, Fax: 852-23141002





www.shinseicorp.com

株式会社シンセイコーポレーション

本社

〒101-0065

東京都千代田区西神田2-5-8共和15番館ビル4F

TEL:03-5212-1253 Fax:03-3237-7162

姫路支店

〒670-0964

兵庫県姫路市豊沢町111番地 シンセイビル

TEL:079-286-8640 FaX:079-287-4560